

高円宮賜杯第46回全日本学童軟式野球大会
マクドナルド・トーナメント栃木県予選
実施要項

1. 主催 一般財団法人 栃木県野球連盟 株式会社下野新聞社
2. 主管 矢板市野球連盟
3. 特別協賛 日本マクドナルド株式会社
4. 会期 2026年6月6・7・13・14・20日、予備日21日
5. 会場 システム興産スタジアム（矢板運動公園野球場）、
大進電気グラウンドA・B（矢板運動公園多目的A・B）、
その他球場
6. 参加チーム 2026年度県野球連盟に登録したチームで 支部長の推薦を受けた32チーム
7. 使用球 (公財)全日本軟式野球連盟公認球ナガセケンコーボールJ号とし、毎試合2個以上チーム持ちとする。
8. 参加申込 連盟のHPより参加申込書をダウンロードのうえ、必要事項を入力のうえ、次のアドレス送付（又は郵送、持参）ください。（尚、手書きは不可とします）
 - 送付アドレス : junior@tochigi-bbl.com
 - 申込書の書き方：背番号の若い順から入力してください。
 - 締め切り：2026年5月19日（火）（必着）
 - 参加申込み完了は参加料の振込確認後となります。
9. 参加料 26,000円/1チーム
下記のいずれかの方法で納入してください。
(1) 銀行振り込みの場合

*足利銀行 江曾島支店 普通預金 口座番号 5128261
口座名義人 一般財団法人 栃木県野球連盟
代表理事 中島 宏（ナカジマ ヒロシ）

振込名は、必ずチーム名でお願いします。

(2) 郵送の場合は現金書留とする。

〒320-0834 宇都宮市陽南4-14-14

(一財)栃木県野球連盟 宛 TEL 028-645-5589

(3) 県連事務所に直接払い込みください

10. 監督会議 (1) 日時：5月24日（日） 午後2時30分受付 午後3時開会
- (2) 場所：宇都宮市体育館会議室（ブレックスアリーナ宇都宮）
宇都宮市元今泉5-6-18 TEL028-663-1611
- (3) 参加者：監督1名、主将1名の 計2名（2名以外は入れない）
野球規則書、競技者必携、本要項・筆記用具持参にて出席すること

11. 開 会 式 6月6日(土) 午前8時00分～
システム興産スタジアム(矢板運動公園野球場)
出場チームは、チーム名プラカード、代表旗を持参すること。
12. 表 彰 優 勝 優勝旗(持ち回り) 優勝楯 賞状(下野新聞社) 認定書(県連)
チャンピオンフラッグ・メダル(日本マクドナルド)
準優勝 賞状(下野新聞社) 準優勝楯 認定書(県連)
メダル(日本マクドナルド)
13. 適 用 規 則 2026年度公認野球規則および2026年度競技者必携に記載される「学童野球に関する事項」ならびに別に定める大会特別規則を適用する
以下、重要部分を抜粋し記載

(1) ベンチに入れる人員

大会登録した、監督(30番)、コーチ2名(29番28番)、選手25名以内(ユニフォーム着用。未登録指導者等のベンチ入りを禁ずる)

その他、スコアラー1名(ユニフォームは非着用)熱中症対策者2名(ビブス着用)。尚、熱中症対策者は入らなくても構わないがコーチが代役をすること。

(2) ユニフォーム・用具

① ユニフォーム

選手・監督・コーチは、同色、同型、同意匠でなくてはならない。

(指導者のロングパンツは、同意匠とみなさない)

スパイク(運動靴は不可)はフリーであるが、金属製(アウトソール部)のものは使用できない。

尚、ユニフォームを着用していない者は、準備中、練習中、試合中いずれの場合もグラウンドには出られない、出てはならない。(厳守)

② 試合中の用具の着用・・・JSBBの認証マークのあるもの

打者/走者/次打/ベースコーチ → 両耳付きヘルメット

捕手 → 捕手用ヘルメット、マスク、プロテクター、レガース、ファウルカップ

(3) 試合方法等

① 試合は6回戦 または90分とする。

② 暗黒・降雨で試合続行不可能でも4回が終了していれば試合は成立する。(関東連盟内規準用)

③ 90分経過した場合は新しいイニングに入らず、均等回完了をもって試合を決する。(必携P49 8. 時間管理について参照)

④ コールドゲームは、4回を終了時点、7点以上の差を生じたとき適用する。但し、決勝戦は適用しない。(関東連盟内規準用)

⑤ 同点の場合はタイムブレイク方式を適用して勝敗を決する。

【タイムブレイク方式】

継続打順とし前回の最終打者を一塁走者に、2塁走者は順次前の打者とする。

すなわち、無死走者一・二塁の状態でも1イニング行う。勝敗が決しない場合は、更に1イニング行い、決しない場合は、抽選とする。但し、決勝戦は決するまで行う。

(関東連盟内規準用)

(4) 投球制限

① 1日70球以内（4年生以下は60球）。

【加えて、1週間の投球数を210球以内（4年生は180球以内）とする。】

② 投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。

③ ボークにかかわらず投球したものは投球数に数える。

④ タイブレークになった場合は、1日の規定投球数以内で投球できる。

⑤ 準備投球や牽制球、送球は投球数としない。

【投球数測定のご協力をお願い】

両チームより成人1名（保護者）を選出いただき、大会本部設置の表示カウンターにて投球数を数えて頂きます。これを、正式投球数とします。

尚、イニング毎、本部席（記録員・審判員）にお知らせください。

投手が変わったらリセットし、再登板があった場合は、本部席に前の投球数を確認し、続けて測定ください。（測定者もメモなどお願いします。）

尚、投球数は自チームの投球を数えてください。

(5) 指名打者

指名打者制を採用することが出来る。

但し、二刀流、いわゆる大谷ルールは採用できない。

(6) 攻守決め

第2試合以降の打順表の交換（攻守決め）は、3回終了時に本部に提出し、球審立ち合いのもとジャンケン（勝者選択）にて決定する。

攻守決定後、先発投手1名のブルペンの使用を認める。

尚、メンバー表に学年を○付数字（6年生=⑥）で空スペースに記入すること。

14. その他

(1) 健康管理

チームは（選手）は、自主的にスポーツ傷害保険等に参加し万全の体制で大会に参加すること。

尚、試合中に起きた負傷等についてはチームにおいて一切の処理を行うものとし大会本部では一切の責任を負わない。

(2) 大会に係る肖像権使用の承諾について

本大会の広報（大会パンフレット他）ならびに学童野球の普及・振興の目的で、試合模様の写真（応援含む）・記念写真・試合動画等の一部を使用する場合がありますので、別紙の承諾書の提出をお願いいたします。

(3) 各チーム、個人が撮影する写真・動画の取り扱いについて

試合の写真・動画撮影データ等は、個人で楽しむ、思い出として保管するものとしていただき、SNS等へ配信UPする場合には、必ず被写体チームの承諾を得ておこなうこと。尚、無許可の場合でも大会本部は責任を負わない。

(4) マナーを守った節度ある応援について（競技者必携 P12）

- ① 試合前のシートロック時やスターティングメンバーのアナウンス時には、太鼓の使用や声援を控える（拍手は可）。
- ② イニングの間は一切の応援をやめ、守備側は座ったまま、拍手のみで応援する。試合が中断（球審の場内放送や選手のケガなど）した場合、応援や演奏は直ちに中止する。
- ③ 試合途中のグラウンド整備中は、応援や演奏を中止して水分補給や休息に充てる。

※尚、鳴り物使用を制限している球場では太鼓などの鳴り物は使用できない。

(5) 試合当日雨天の場合、実施の有無を当日朝 6 時頃に判断し連盟HPに 6 時 15 分までに掲載するので確認してください。

“実施検討中”となっている場合は、再度確認ください。

尚、当日の朝の実施の有無については、電話での問合せは受けつけない。

(6) 優勝、準優勝チームの上位大会参加資格について

優勝チームは、

高円宮賜杯 第 46 回全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント

8/7(金)～8/13(木)（於：愛媛県）

準優勝チームは、

コントリビュートカップ 第 49 回関東学童軟式野球大会

8/8(土)～8/9(日)（於：神奈川県）

に本県代表として参加資格を得る。

以上